

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年7月26日

2005年7月24日現在：

7月24日に終わる週の東部ワシントンの気象は、全体に高温・乾燥気象であった。最高気温はEC地区では97~100度F、SE地区では97(Pullman)~107度F(Whitman Miss.)であった。平均気温は3~5度F 平年を上回った。Topsoil 及び Subsoil の水分が減少した。Subsoil 水分は5年平均より低くなった。灌漑用水の状況は平年より悪い。1週間の州平均農作業稼働日数は6.6日(前週:6.7日)であった。

Adams 郡の冬小麦の収穫は全域にて行われており、単位収量は平年より多少良好と報告された。Lincoln 郡の春小麦の収穫が南部より開始された。同郡の一部で小麦収穫作業が驟雨にて1日中断した。Walla Walla 郡の気温は極めて上昇し、収穫が促進された。単位収量は平年並み。Whitman 郡の小麦収穫も郡西部を中心に順調に進んだが、週末の驟雨で一時中断した。降雨による被害の報告は無い。Spokane 郡冬小麦の収穫は1週間先と見込まれた。冬小麦は全州の16%、春小麦は7%が収穫された。高温・乾燥の為、冬小麦、春小麦の作柄評価は2週続きで落ちた。特に春小麦の評価が大きく落ちた。

7月1日付け USDA 発表の冬小麦生産量予想では、単位収量は6月1日付け予想と同数の69.0 bu/acr であった。春小麦の生産量予想では、単位収量は昨年実績より少ない45.0 bu/ac (昨年:50.0 bu/ac) であった。春小麦の生育期の水分不足がマイナス要因と言える。詳細は別表の通り。

土壌水分及び灌漑用状況 : 7月24日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	14	25	61	0
5-Yr Ave.	17	42	41	0
Subsoil (%)	20	46	34	0
5-Yr Ave.	10	46	44	0
Irrigation W.	8	11	81	0
Irr. Water Ave	1	6	93	0

Ave. means 5-year average

小麦の生育状況 : 7月24日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Harvested (%)	16	8	14	13
Spring Wheat Harvested (%)	7	0	3	4

小麦の作柄状況 : 7月24日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat Dryland (%)	1	9	25	50	15
Irrigated (%)	1	3	12	64	20

Spring Wheat					
Dryland (%)	4	15	42	37	2
Irrigated (%)	4	7	17	64	8

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

7月1日付け USDA 冬小麦生産量予想 :

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
WA	1,750	1,850	67.0	69.0	63.0	117,250	127,650
USA	34,462	34,271	43.5	44.1	44.5	1,499,434	1,525,302

7月1日付け USDA 春小麦生産量予想 :

State	Harvested Area 1,000 acres		Yield Bushels/acre			Production 1,000 bushels	
	2004	2005	2004	2005		2004	2005
June 1				July 1			
WA	525	435	50.0	-	45.0	26,250	19,575
State	13,174	13,637	43.2	-	43.2	568,918	588,740

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>